

CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows

パトロールシーク機能 インストールガイド

© 2026(Apr) NEC Corporation

- はじめに
- 製品導入の事前準備
- 本製品のインストール
- 本製品の初期設定
- 本製品のアンインストール
- 本製品のダウングレードインストール
- 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.3	新規作成
2.0	2016.3	Microsoft .NET Framework のダウンロード先 URL を追記
3.0	2017.4	バージョンアップに伴い改版
4.0	2018.4	バージョンアップに伴い改版
5.0	2018.6	商標の記載を修正
6.0	2019.4	バージョンアップに伴い改版
7.0	2020.4	バージョンアップに伴い改版
8.0	2021.4	バージョンアップに伴い改版 インストール先のデフォルトフォルダーを変更
9.0	2022.4	バージョンアップに伴い改版
10.0	2023.4	バージョンアップに伴い改版
11.0	2024.4	バージョンアップに伴い改版
12.0	2025.4	バージョンアップに伴い改版
13.0	2026.4	バージョンアップに伴い改版

はしがき

本書では、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows (以後 RootDiskMonitor と記載します) パトロールシーク機能のインストール、アンインストール方法および初期設定手順について説明します。

(1) 商標および登録商標

- ✓ log4net は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
著作権、所有権の詳細につきましては、RootDiskMonitor パトロールシーク機能をインストール後、以下の LICENSE ファイルを参照してください。
【インストールフォルダー】¥HA¥MDMPSEEK¥bin¥LICENSE.txt
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. はじめに.....	1
2. 製品導入の事前準備.....	2
2.1. 準備するもの	2
2.2. 動作要件	4
3. 本製品のインストール	7
3.1. インストール.....	7
3.2. インストール後の確認.....	12
3.3. ファイル構成	13
4. 本製品の初期設定.....	14
4.1. 設定ファイルの作成	14
4.2. 定期検査の設定	14
5. 本製品のアンインストール	15
5.1. ファイルのバックアップ	15
5.2. アンインストール	16
6. 本製品のダウングレードインストール.....	17
6.1. ダウングレードインストール	17
7. 注意・制限事項.....	18
7.1. ダウングレードインストールにおける注意事項.....	18

1. はじめに

本書は、RootDiskMonitor パトロールシーク機能のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『プログラムと機能』が表示されます。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows パトロールシーク機能 インストールガイド」を参照してください。 「9. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダー名の前後	【インストールフォルダー】 ¥HA¥MDMPSEEK¥conf¥mdmpseek.conf
[]	項目名の前後	[プログラムと機能] を選択してください。
斜体、太字	ボタン名	OK を押してください。

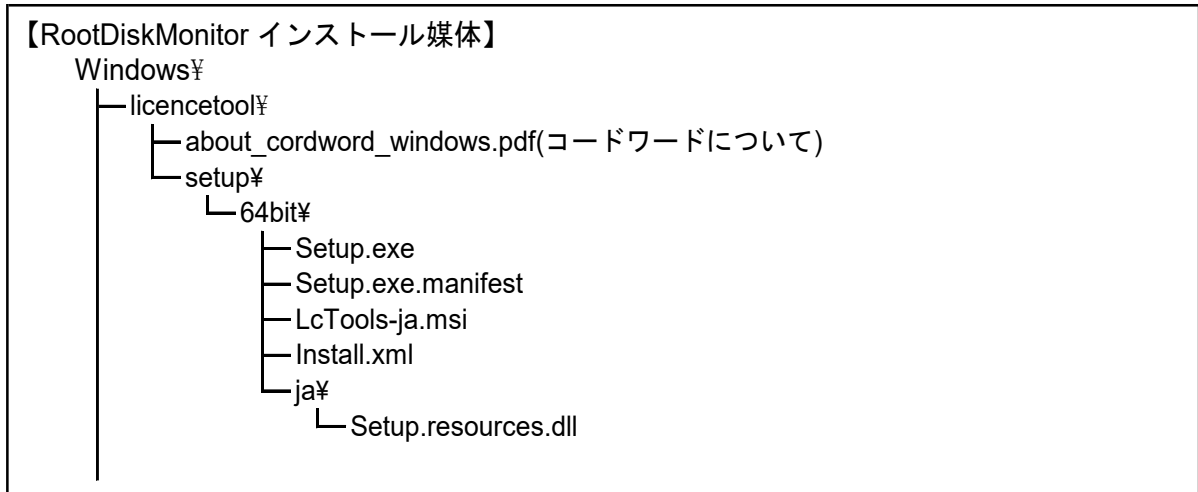
2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

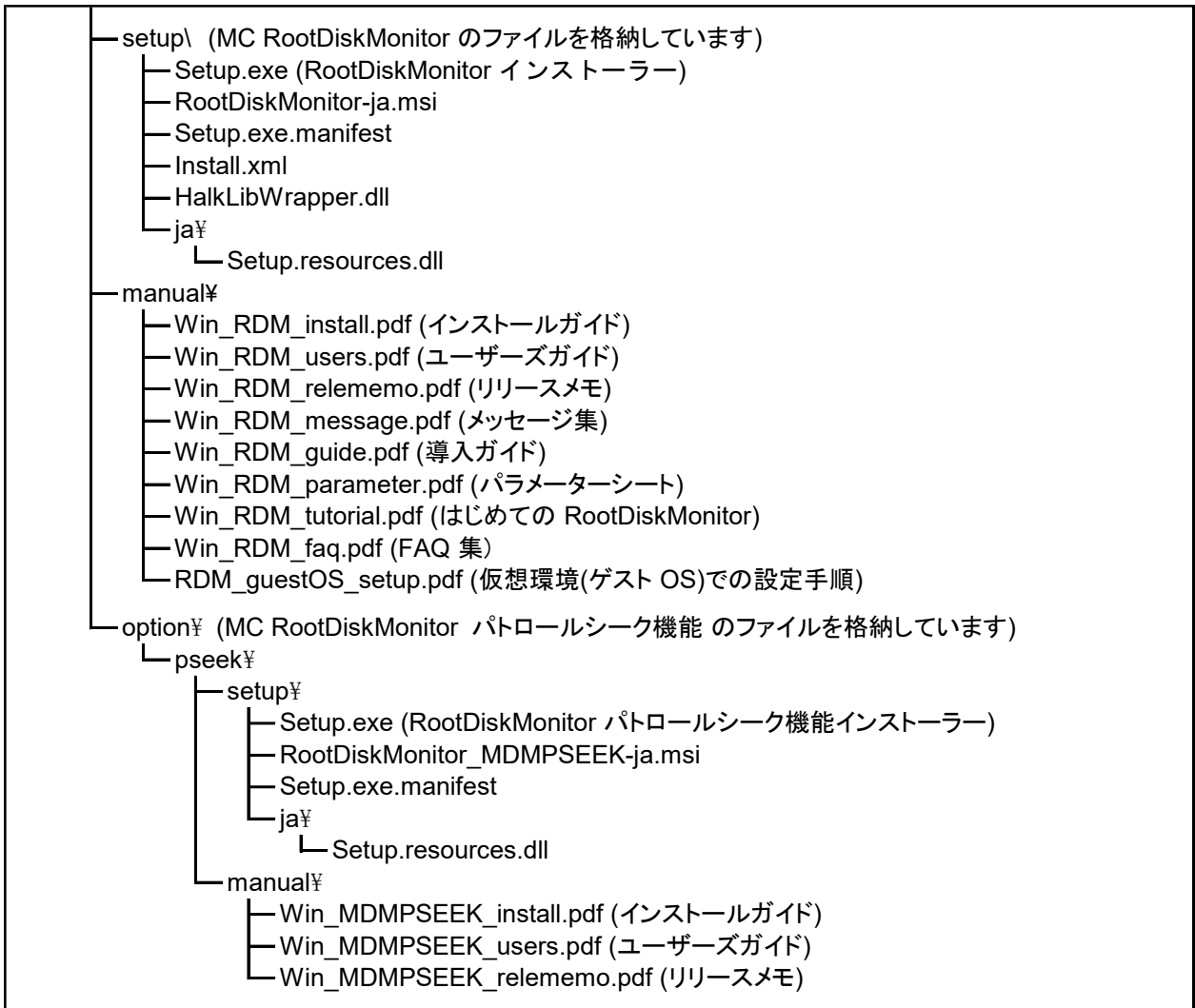
本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。

本製品のインストーラーおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



※次ページに続きます。



2.2. 動作要件

- (1) ソフトウェア要件
本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。
通常は、対応 OS をインストールした場合、プリインストールされます。
[サーバー マネージャー] の [役割と機能の追加] より、
インストールされていることを確認してください。

・Microsoft .NET Framework のインストール状態の確認手順

[スタート] メニュー - [管理ツール] - [サーバー マネージャー]

上記手順で、[サーバー マネージャー] が表示されるので、[役割と機能の追加] を選択してください。

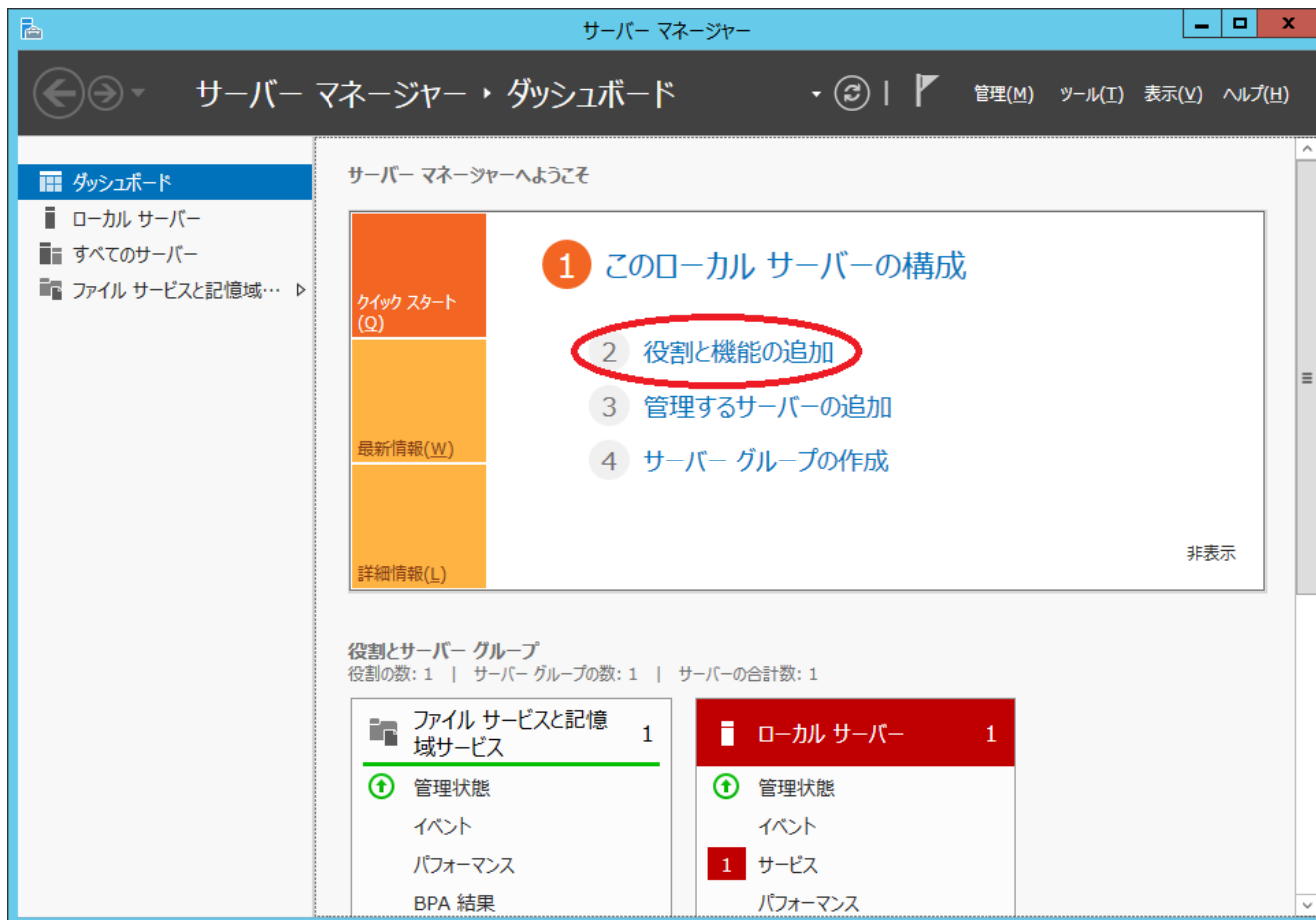


図 1 サーバー マネージャー画面

インストールされている.NET Framework は、
[役割と機能の追加ウィザード] - [開始する前に] 画面で、[機能]を選択すると、
下記画面が表示されますので、確認してください。

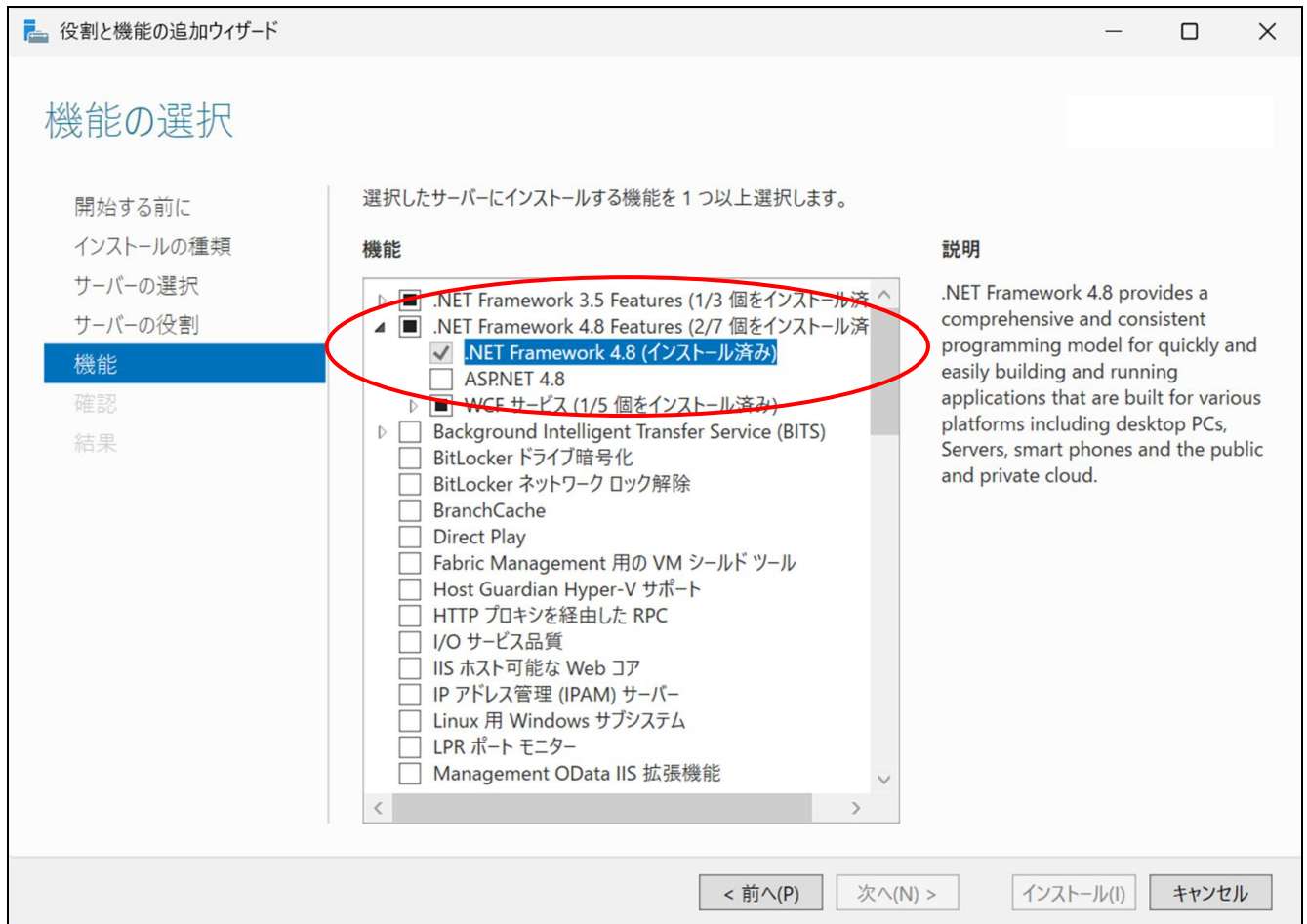


図 2 役割と機能の追加ウィザード

※上記は .NET Framework 4.8 の場合の図です。

3. 本製品のインストール

3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

注意 ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
・本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降が必要です。
・事前にインストールされていることを確認してください (「2.2 動作要件」(1) を参照)。

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 媒体に格納されている【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1. 準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。

実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。

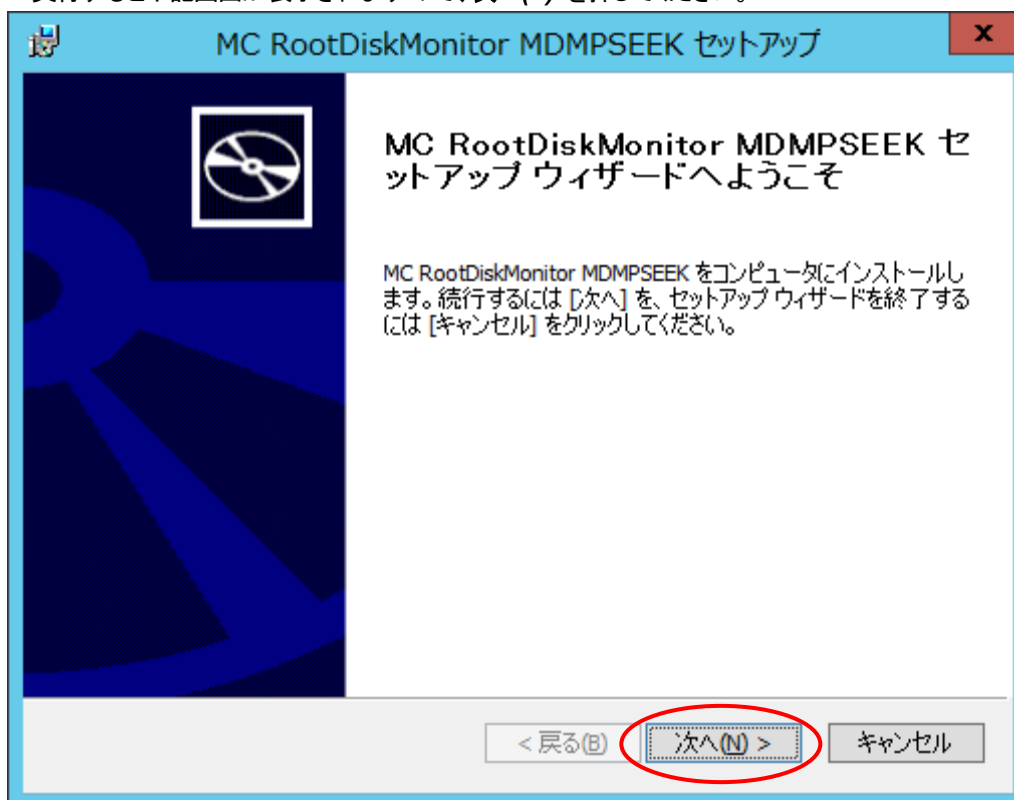


図 4 インストーラー準備画面

- (3) インストール先のフォルダーを指定します。
指定したフォルダー配下に "HA¥MDMPSEEK" フォルダが作成され、
各ファイルがそのフォルダーにインストールされます。
デフォルトのインストール先ドライブは、最も空き容量の大きいドライブです。
通常は "C:¥Program Files" です。

デフォルトの設定でインストールする場合は、**次へ(N)** を押してください。

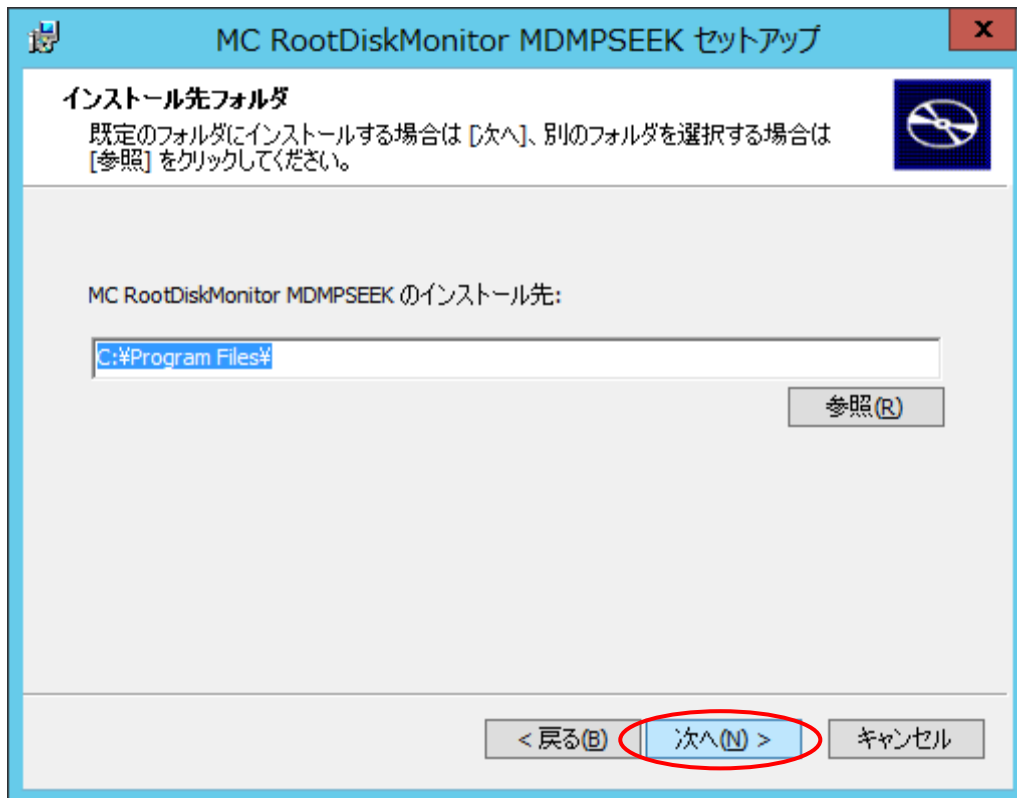


図 5 インストール先のフォルダ表示画面

インストール先を変更する場合は、直接インストール先を入力するか、**参照(R)** を押してください。
参照(R) を押した場合、下記画面が表示されます。
インストールするフォルダーを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

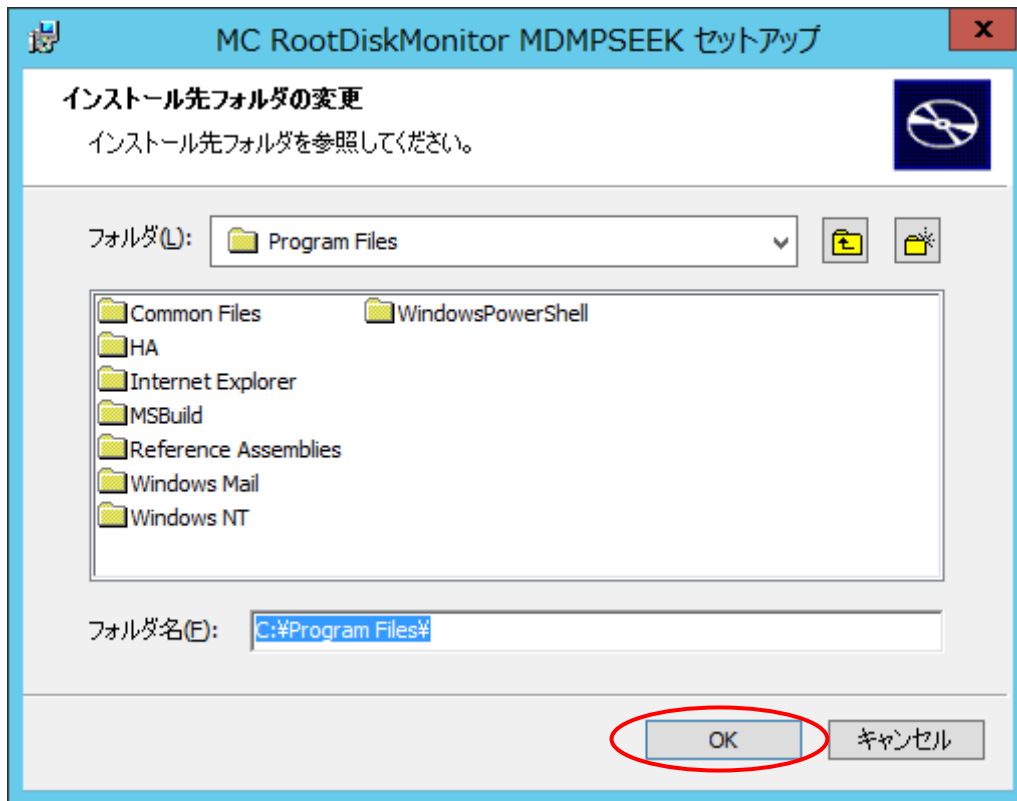


図 6 インストール先のフォルダー変更画面

注意 インストール先のフォルダーには、ネットワークドライブ上のフォルダーは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダーを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

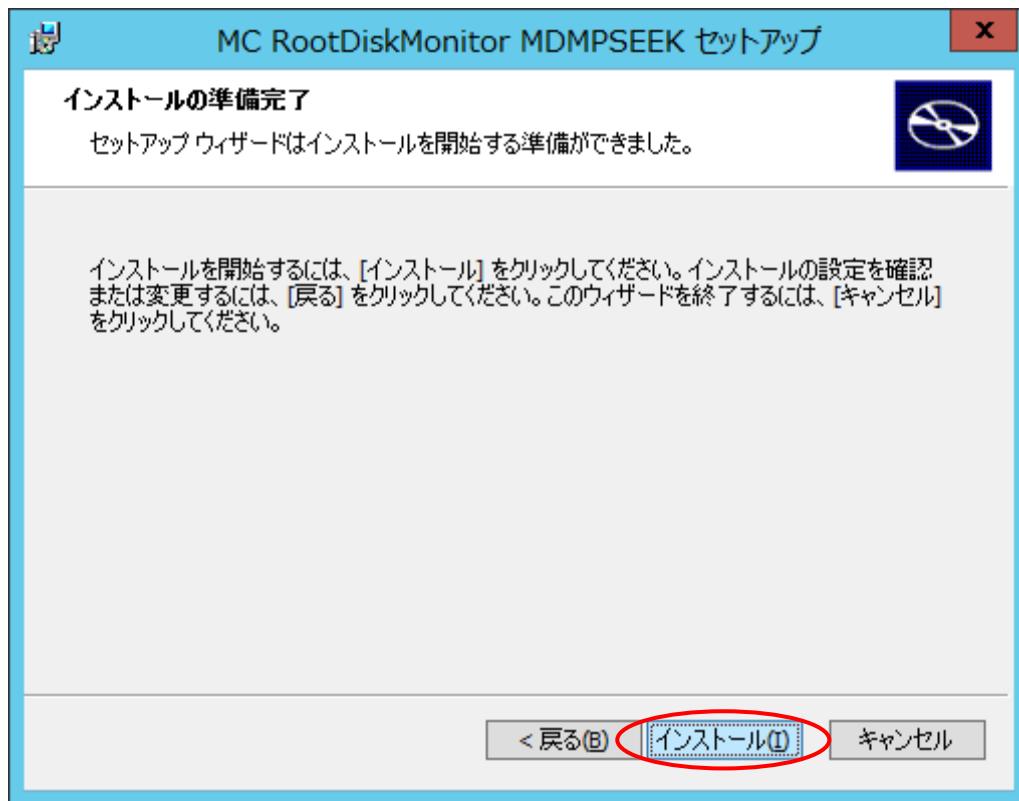


図 7 インストール開始画面

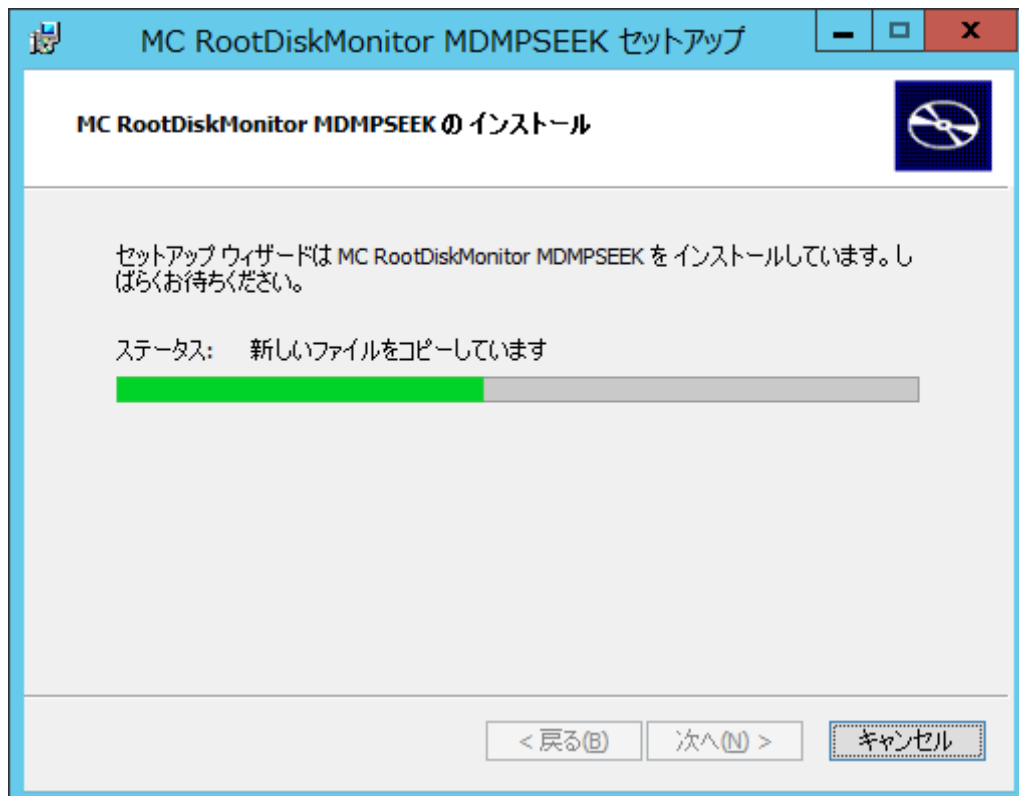


図 8 インストール中の状態

- (5) 本製品のインストールが完了すれば、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して画面を終了してください。

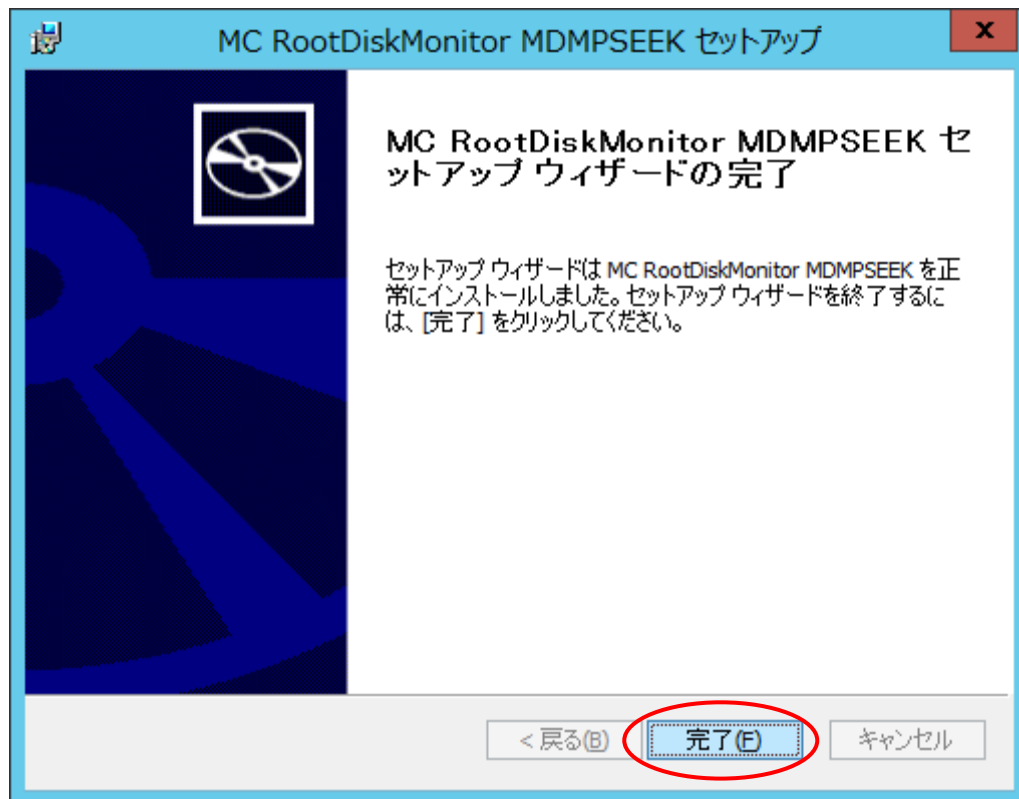


図 9 インストール完了画面

以上で本製品のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

『プログラムと機能』で本製品がインストールされていることを確認してください。

スタートメニューから [コントロールパネル] - [プログラムと機能]

上記手順により、下記画面を表示します。

一覧に [MC RootDiskMonitor MDMPSEEK] が登録されていることを確認してください。

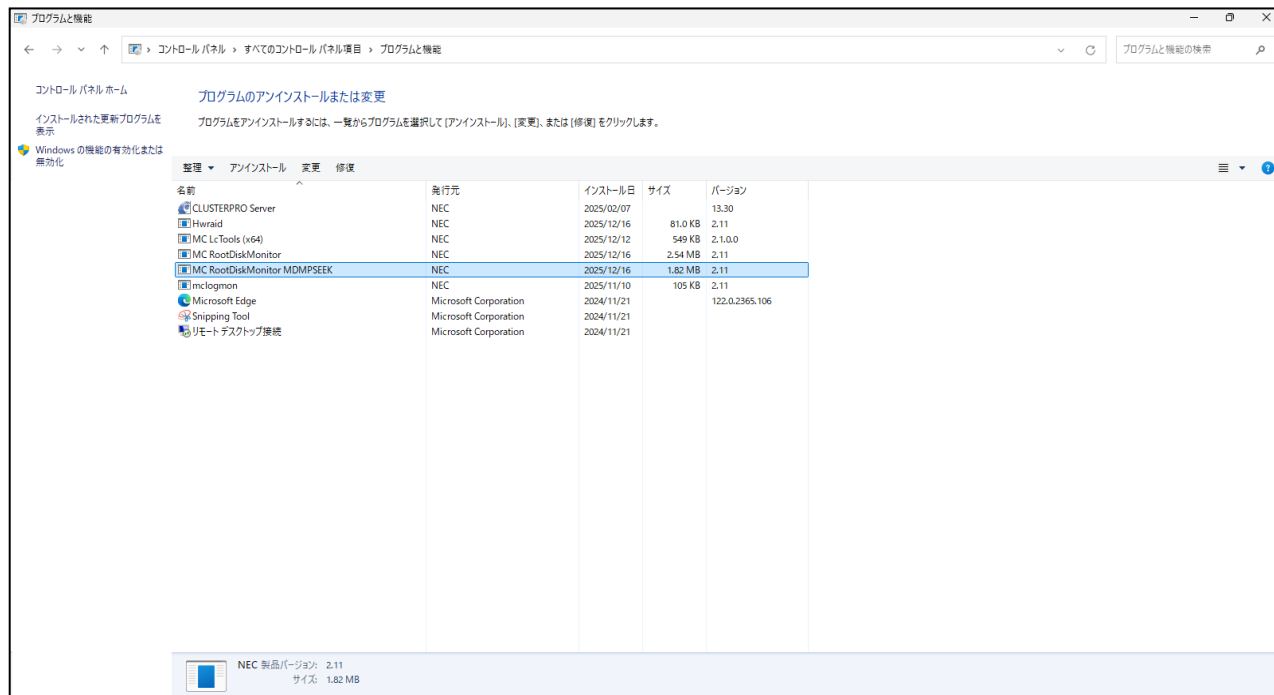
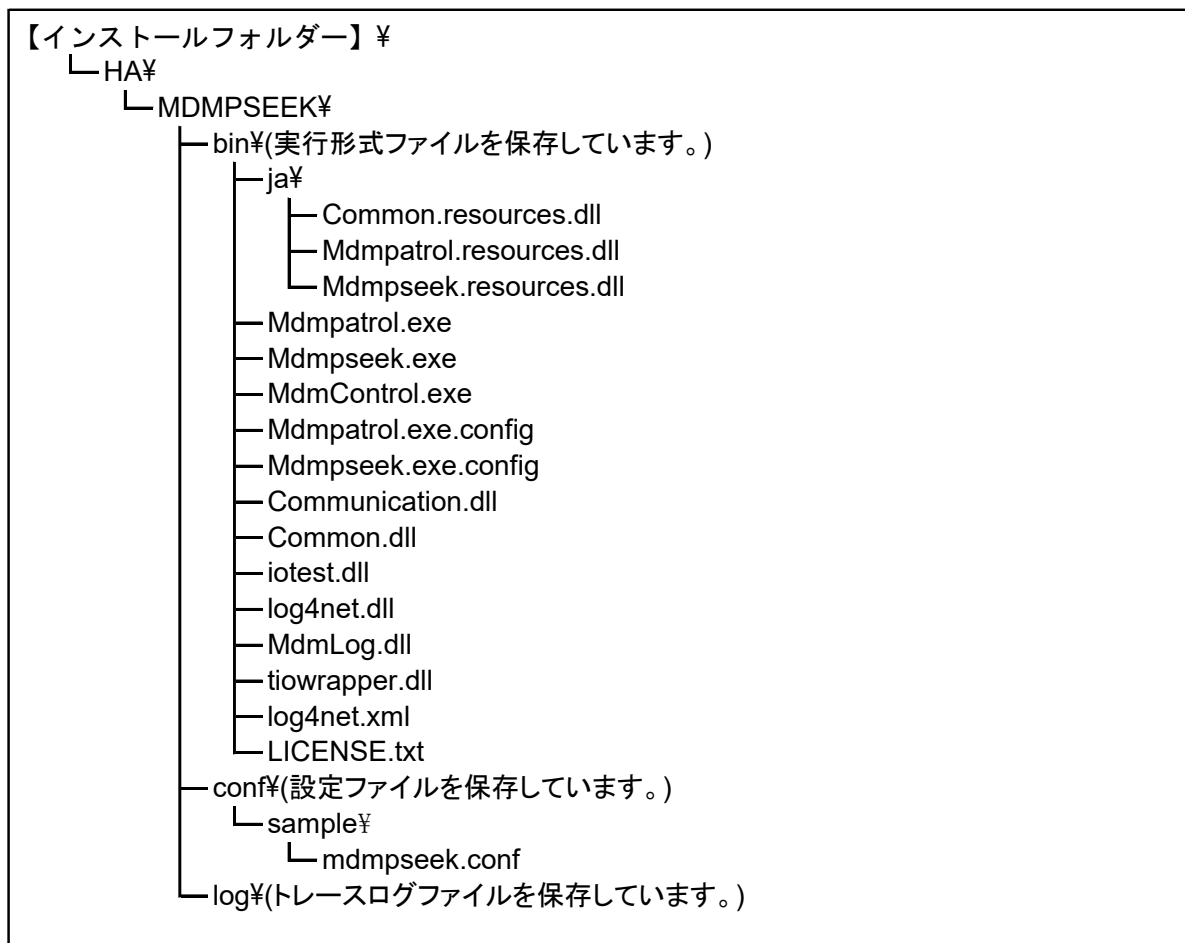


図 10 『プログラムと機能』

3.3. ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。



※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。

4. 本製品の初期設定

4.1. 設定ファイルの作成

設定ファイルを作成します。

作成方法については、「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows パトロールシーク機能 ユーザーズガイド」を参照してください。

4.2. 定期検査の設定

OS のタスクスケジューラによる定期検査を設定します。

設定方法については、「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows パトロールシーク機能 ユーザーズガイド」を参照してください。

以上で、本製品の初期設定は完了です。

5. 本製品のアンインストール

5.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやログファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

設定/ログファイル

【インストールフォルダー】\HA\MDMPSEEK 配下

・conf

設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイルを保存しています。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、"C:\Program Files" です。

補足 インストール後に作成されたフォルダーやファイルは削除されません。

5.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

-
- 注意
- ・アンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
 - ・アンインストールを開始する前に以下を確認してください。
 - パトロールシークの定期検査を実行していないこと
 - パトロールシークをオンデマンド実行していないこと
-

- (1) 下記手順により本製品のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [プログラムと機能] を選択してください。
- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、[MC RootDiskMonitor MDMPSEEK] を選択し、**アンインストール** ボタンを押してください。

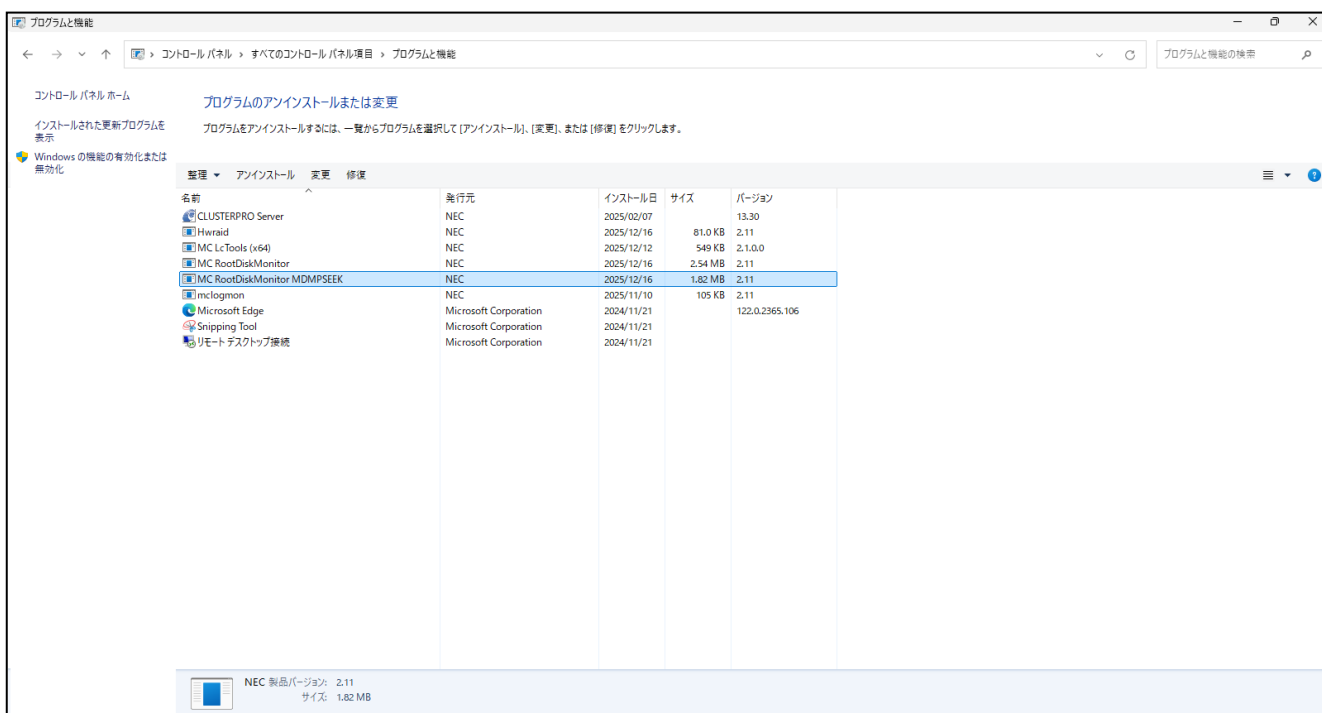


図 11 『プログラムと機能』

- (3) アンインストールボタンを押すと下記画面が表示される場合があります。
はい(Y) を押すと RootDiskMonitor パトロールシーク機能 のアンインストールが開始されます。

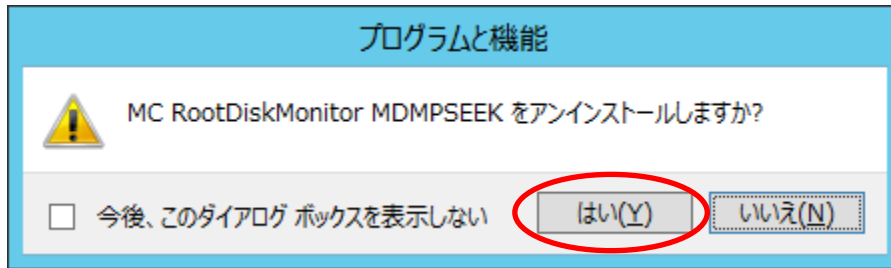


図 12 削除確認画面

- (4) 不要なファイルを削除します。
アンインストールにより削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダーおよびファイルのみです。
設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。
これらのファイル(インストールフォルダー配下) が不要な場合は、削除してください。

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

6. 本製品のダウングレードインストール

6.1. ダウングレードインストール

既にインストールされている RootDiskMonitor パトロールシーク機能よりも前のバージョンの RootDiskMonitor パトロールシーク機能をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている RootDiskMonitor パトロールシーク機能を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの RootDiskMonitor パトロールシーク機能を新規インストールしてください。なお、RootDiskMonitor パトロールシーク機能のアンインストール手順については「5. 本製品のアンインストール」、インストール手順については「3. 本製品のインストール」を参照してください。

7. 注意・制限事項

7.1. ダウングレードインストールにおける注意事項

既にインストールされている RootDiskMonitor パトロールシーク機能よりも前のバージョンの RootDiskMonitor パトロールシーク機能をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている RootDiskMonitor パトロールシーク機能を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの RootDiskMonitor パトロールシーク機能を新規インストールしてください。

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.11 for Windows
パトロールシーク機能 インストールガイド

2026 年 4 月 第 13 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙